

JPNIC & JPIX 共同開催セミナー「インターネット入門」

インターネットトラフィックの流れ とオペレーション

日本インターネットエクスチェンジ株式会社 馬渡 将隆 <mawatari@jpix.ad.jp>

2020年8月21日(金)





自己紹介



- 馬渡 将隆 (まわたり まさたか)
 - 2008年10月に JPIX 入社し、技術部に所属
 - 技術以外もやっています
 - JPIXに入る前には、ISP でネットワーク運用 をしていました



はじめに

- 現在、生活基盤の1つとなっているインターネットを「使う側」と「支える側」では、インターネットそのものの捉え方が違うかもしれません。
- この場では、「使う側」の一人である一般消費者からは見える事の少ない 「支える側」の視点を主軸にお伝えしたいと思います。
- このセミナーでは、インターネット業界を「情報通信技術を扱う事を生業 としている企業・団体の集まり」と定義します。「支える側」である彼ら がなにを大事にし、どのような業務を行っているのか見ていきたいと思い ます。





本時限のトピック

1.インターネットトラフィックの流れ方

2.オペレーションとそれらの役割





本時限のトピック

1.インターネットトラフィックの流れ方

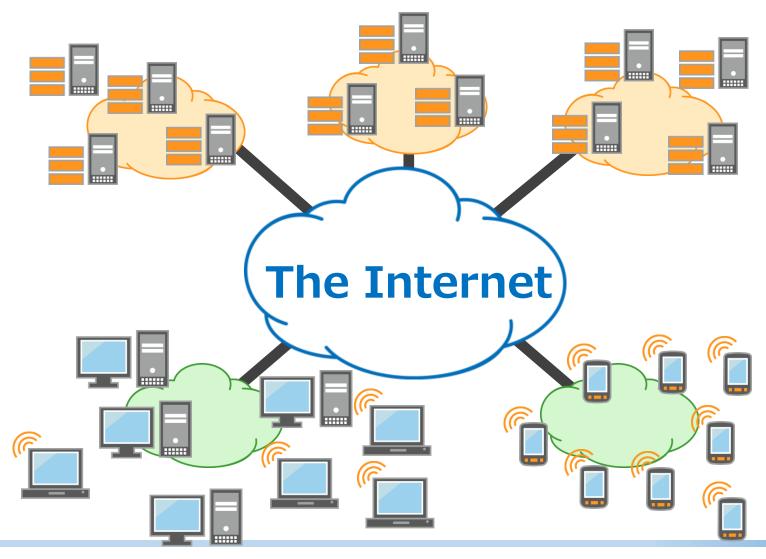
2.オペレーションとそれらの役割







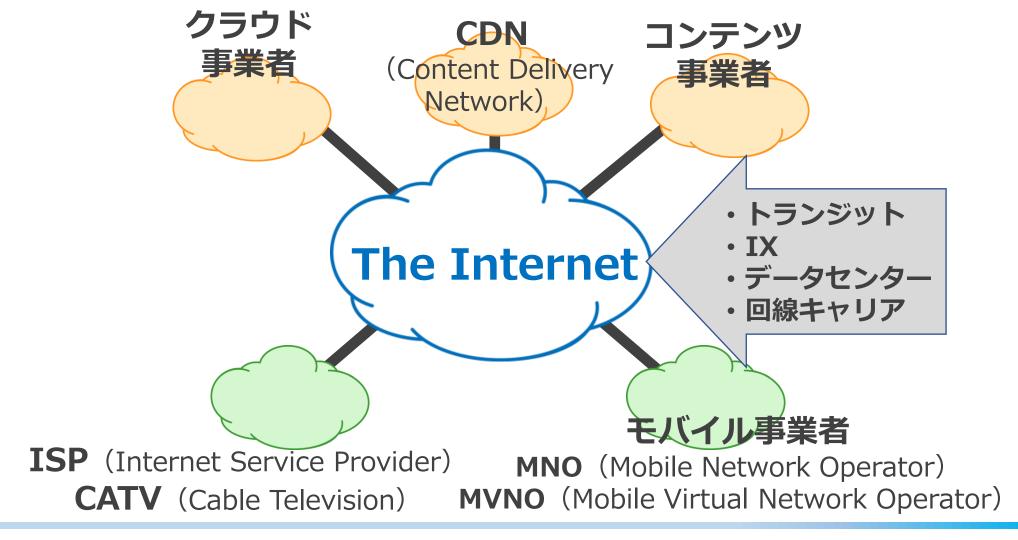
インターネットとは?







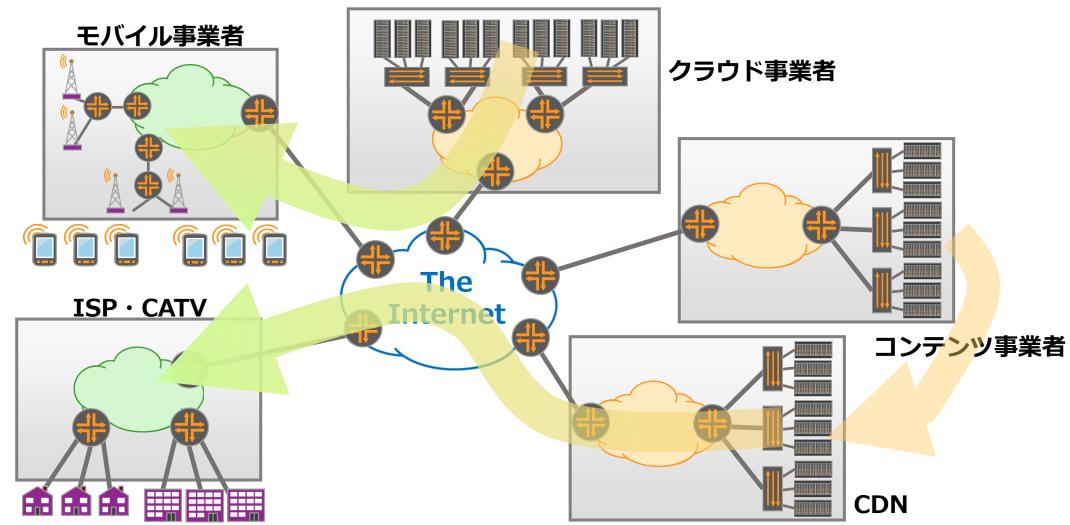
インターネットを形作っている各主要プレイヤー







各主要プレイヤーとトラフィックの流れ

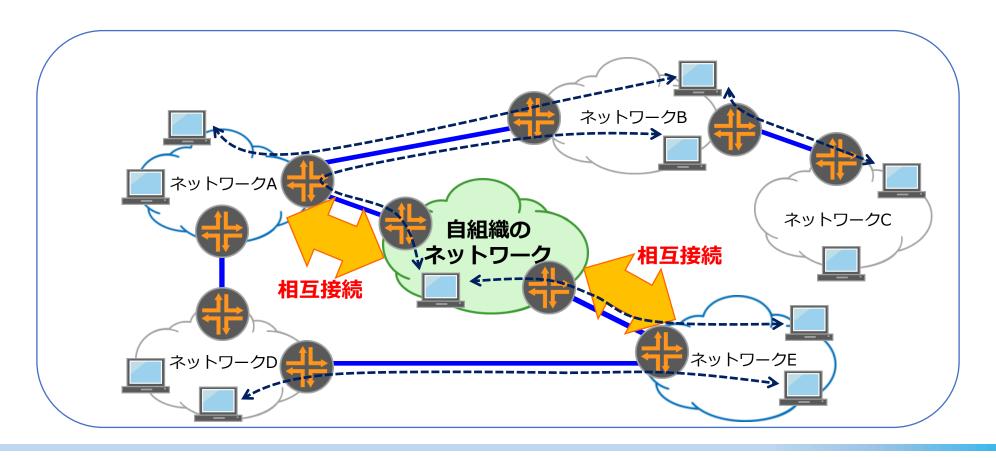




「ネットワークの相互接続」とは...?



自組織のネットワークと他組織のネットワーク を接続する事



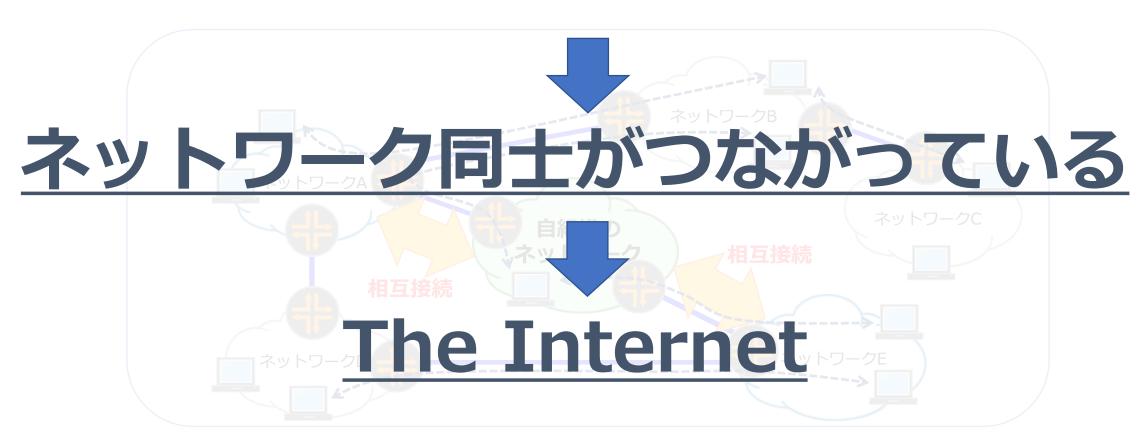




「ネットワークの相互接続」とは…?



自組織のネットワークと他組織のネットワーク を接続する事







誰がトラフィックを多く持っているのか?

過去

- ・ キャリア(≒ Tier-1 Network)
- 海底ケーブル、ハードウェア・アセットを多く持っている企業が力を持っていた





現在

- Hyper Giants (コンテンツ、CDN)
- サービス提供者自身も自社でチップ・ ネットワーク機器・サーバを作る時代

Google Apple facebook amazon Microsoft

将来

さらなるインターネットのセグメント化 = 国・地域の間で壁??

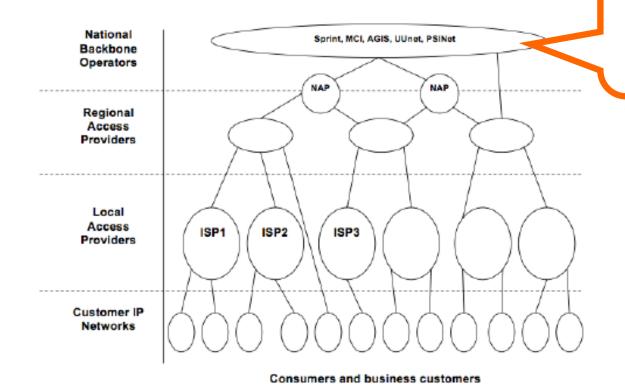






トラフィックの流れ方(過去)

Textbook Internet (1995 – 2007)



Tier-1 Network が インターネットの要 になっている時代

- Tier1 global core (modulo a few name changes over the years)
- Still taught today

http://www.telco2.net/blog/2009/10/perhaps the most important cha 1.html

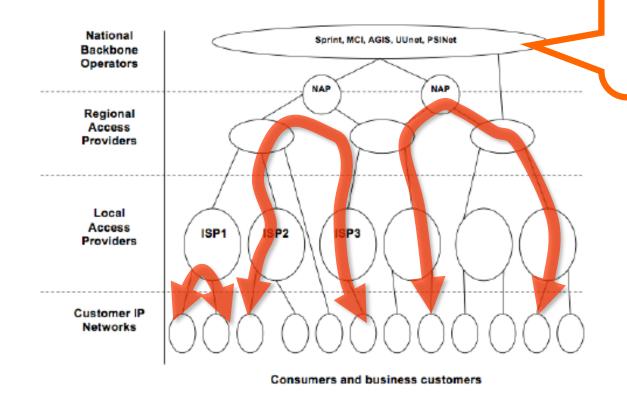






トラフィックの流れ方(過去)

Textbook Internet (1995 – 2007)



Tier-1 Network が インターネットの要 になっている時代

- Tier1 global core (modulo a few name changes over the years)
- Still taught today

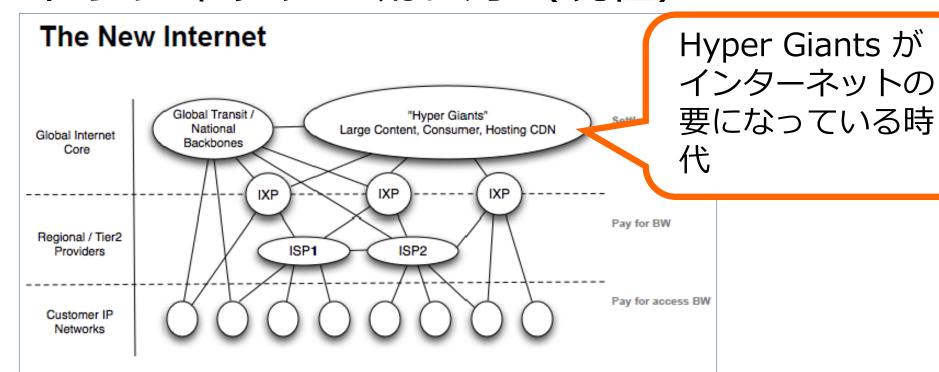
http://www.telco2.net/blog/2009/10/perhaps the most important cha 1.html







トラフィックの流れ方(現在)



- Flatter and much more densely interconnected Internet
- Disintermediation between content and eyeball networks
- Complex commercial models between content, consumer and transit

Page 24 - Labovitz

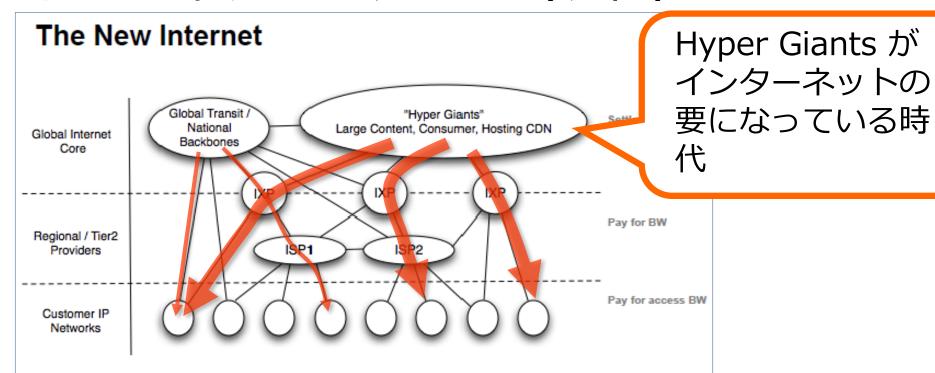
https://www.globalpeeringforum.org/pastEvents/gpf6.0/presentations/craig_gpf_short.pdf







トラフィックの流れ方(現在)



- Flatter and much more densely interconnected Internet
- Disintermediation between content and eyeball networks
- Complex commercial models between content, consumer and transit

Page 24 - Labovitz

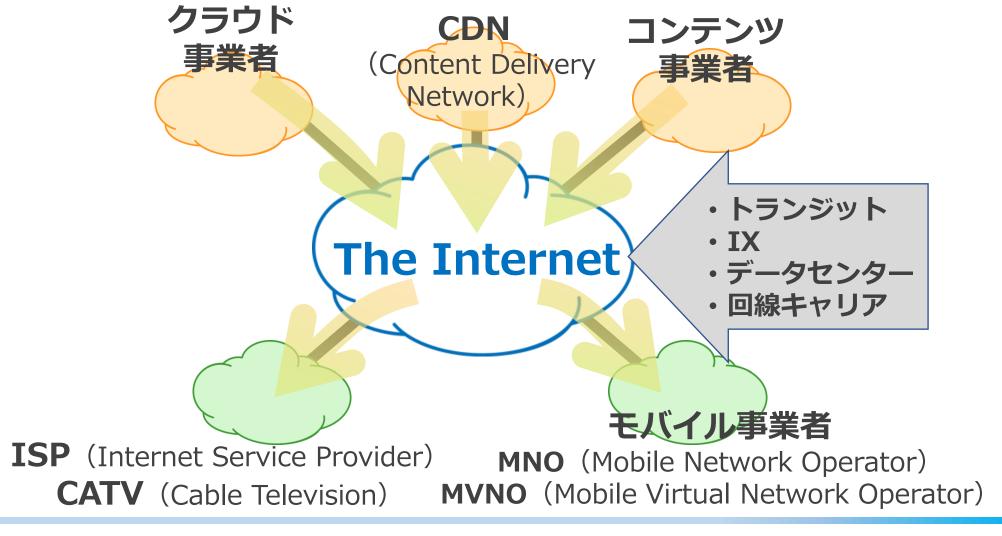
https://www.globalpeeringforum.org/pastEvents/gpf6.0/presentations/craig_gpf_short.pdf







事業者間のトラフィック交換







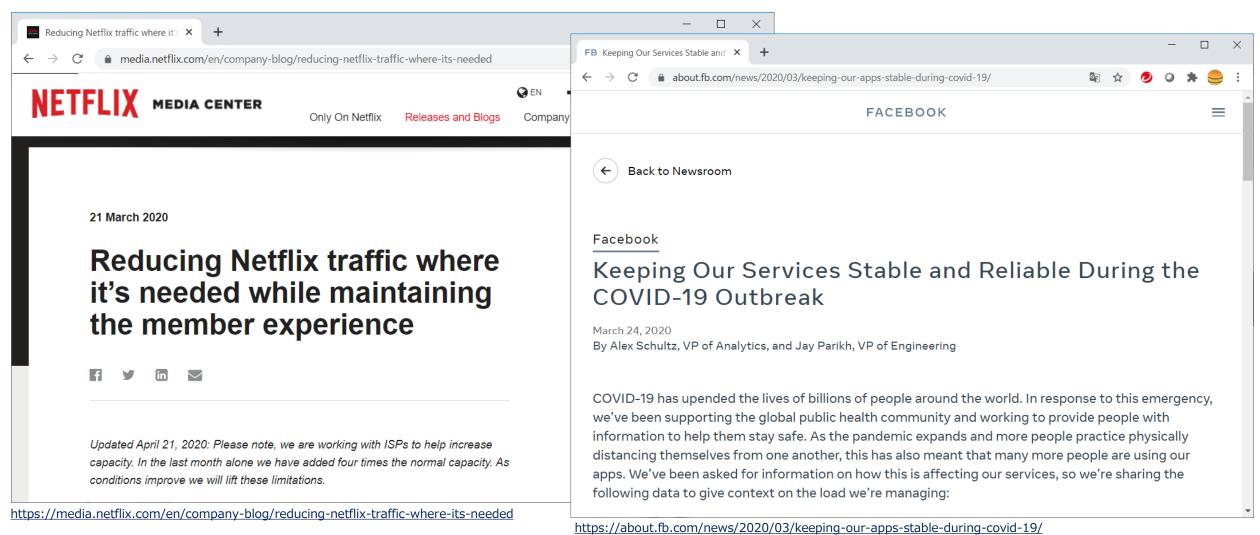
COVID-19 によって変化する トラフィック







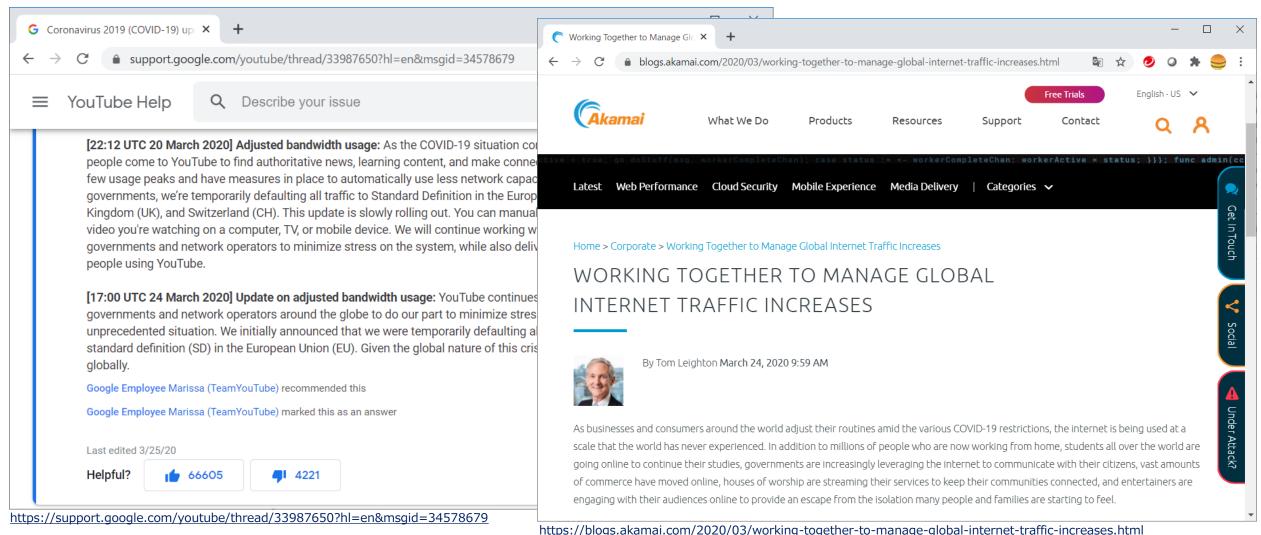
各コンテンツ事業者/CDN からのアナウンス







各コンテンツ事業者/CDN からのアナウンス







JPIX TOKYO のトラフィック量の変化



https://www.jpix.ad.jp/en/technical_traffic.php

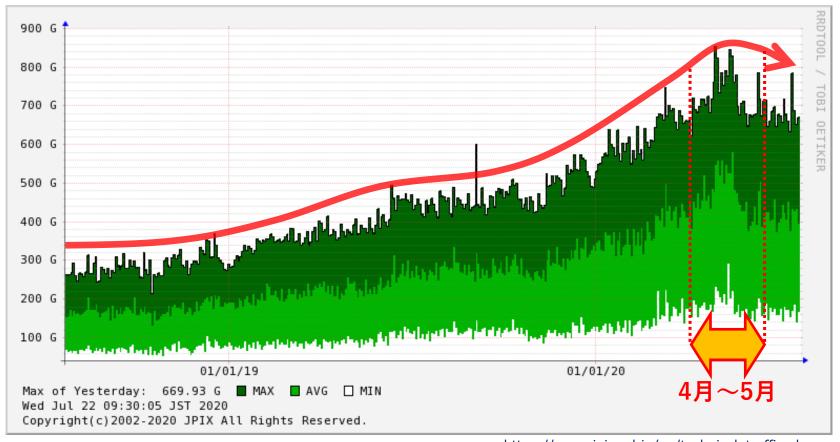
- 2020年4月~5月の間にピークが表れている
- 2020年2月1日(1Tbps)と 2020年5月16日(1.5Tbps)を比べると50%増加







JPIX OSAKA のトラフィック量の変化



https://www.jpix.ad.jp/en/technical_traffic.php

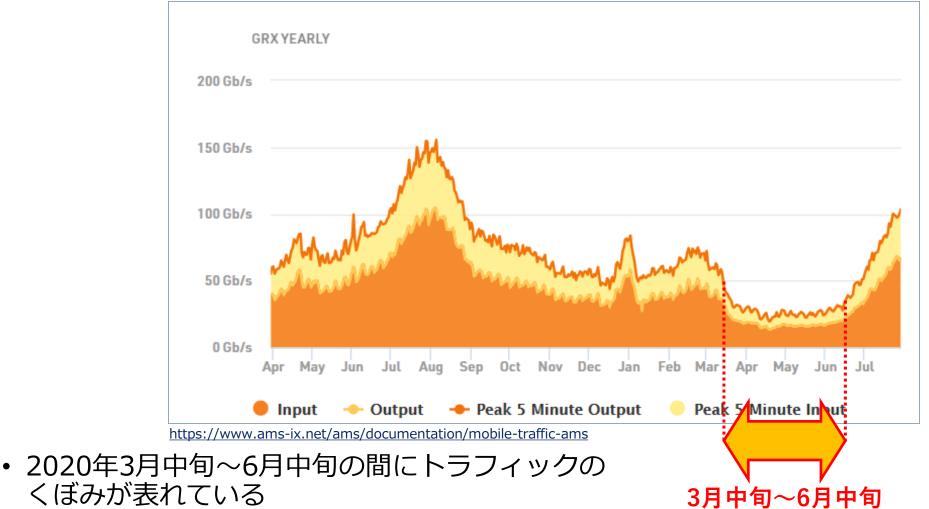
- 2020年4月~5月の間にピークが表れている
- 2020年2月1日(580Gbps)と 2020年5月13日(950Gbps)を比べると64%増加







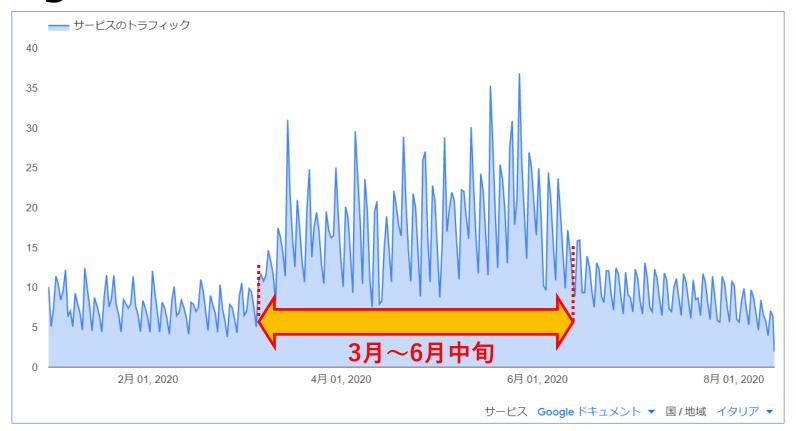
AMS-IX(GRX:モバイルデータローミングのエクスチェンジサービス) のトラフィック量の変化







Google サービスのトラフィック量の変化



https://transparencyreport.google.com/traffic/overview?hl=ja&fraction_traffic=start:1577750400000;end:1597363199999;product:4;region:IT&lu=fraction_traffic

- Google サービスごとにトラフィックグラフの閲覧をする事が出来る
- イタリアの Google ドキュメントのグラフを見ると3月~6月中旬の間に上昇が見られる







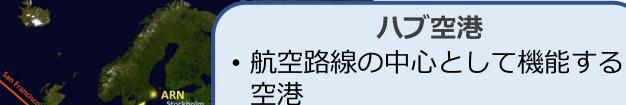
トラフィックが集まる場所とは?







ハブ (HUB)



フランクフルト空港は、ルフト ハンザドイツ航空のハブ空港

744: Boeing 747-400 733: Boeing 737-300 346: Airbus A340-600 321: Airbus A321 319: Airbus A319

LH: Lufthansa

SA: South African Airlines

UA: United Airlines

HUB (パプ)

- 英国風パブのチェーン店
- 名前の由来は「ハブ空港 などと同じで、人が集ま るところ」



ハブ(自転車)

車輪の中心にある スポークが集中し ている部分

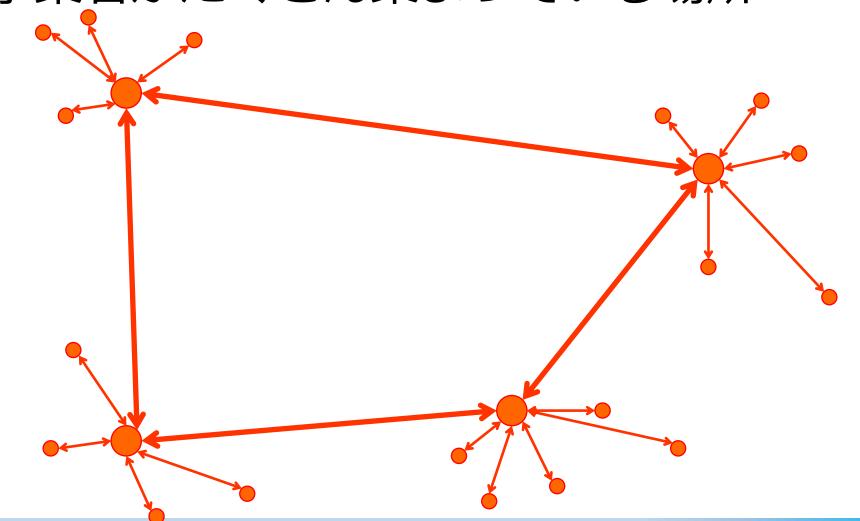




大量のトラフィックが集まる場所



事業者がたくさん集まっている場所

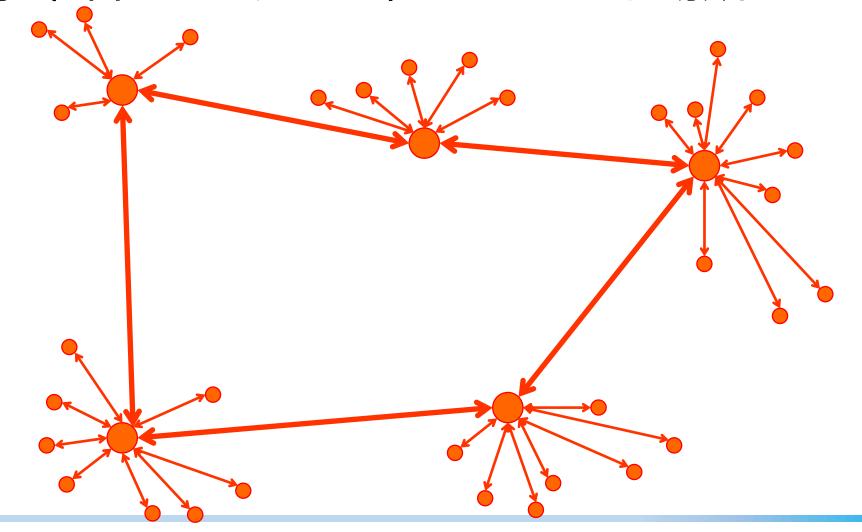




大量のトラフィックが集まる場所



事業者がたくさん集まっている場所



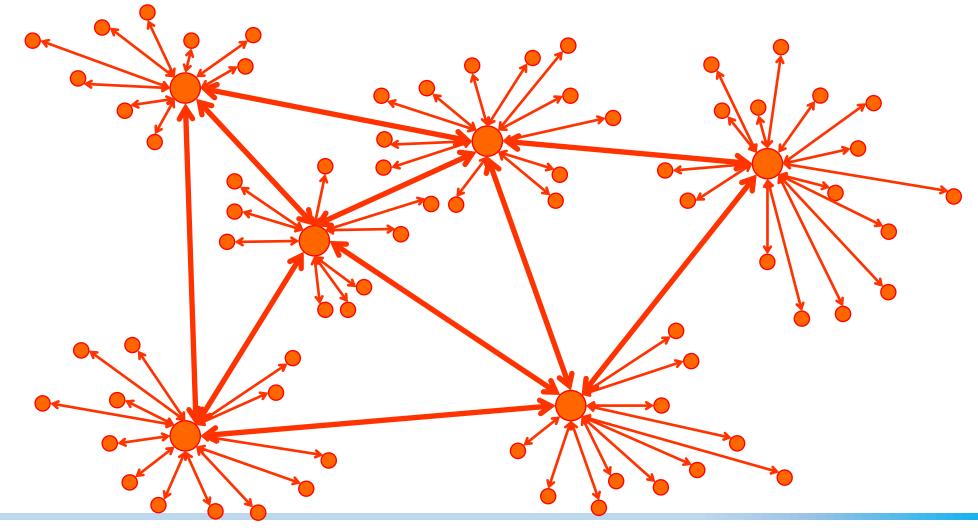




大量のトラフィックが集まる場所



事業者がたくさん集まっている場所

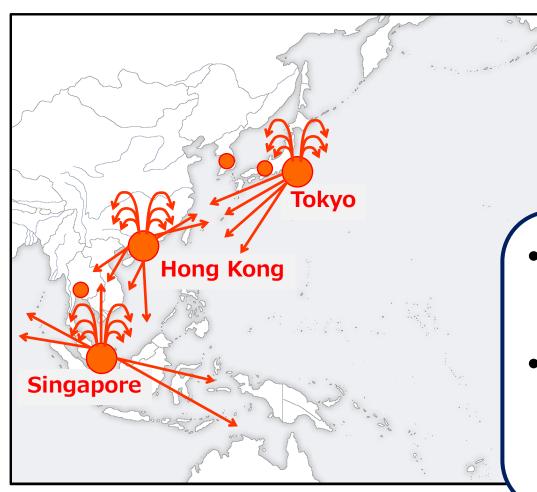








事業者の拠点が集まっている場所 (アジア)



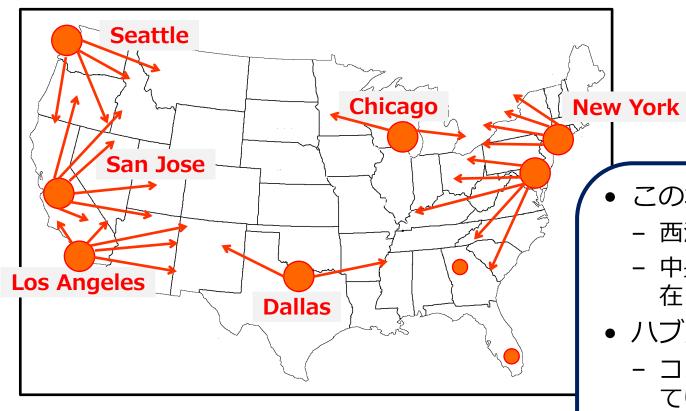
- この地域の特徴
 - 大部分の国・地域が海に面している
 - 国・地域間のトラフィックは海底ケーブルを経由
- ハブが出来た理由
 - 商業都市かつ国際都市として発展してきた歴史
 - アジア内の他の都市と比較して、特殊なレギュレーションが少ない







事業者の拠点が集まっている場所(北米)



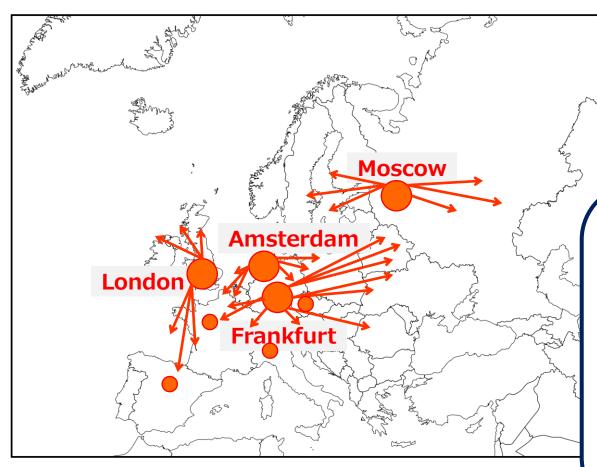
- この地域の特徴
 - 西海岸・東海岸の両方に主要拠点がある
 - 中央部も東西海外の規模ほどではないが拠点が存在している
- ハブが出来た背景
 - コンピュータや通信技術の研究が活動的に行われていた大学がある都市にハブが出来ている
 - 中央部では交通機関のハブがあるところにインターネットのハブも出来ている模様







事業者の拠点が集まっている場所(ヨーロッパ)



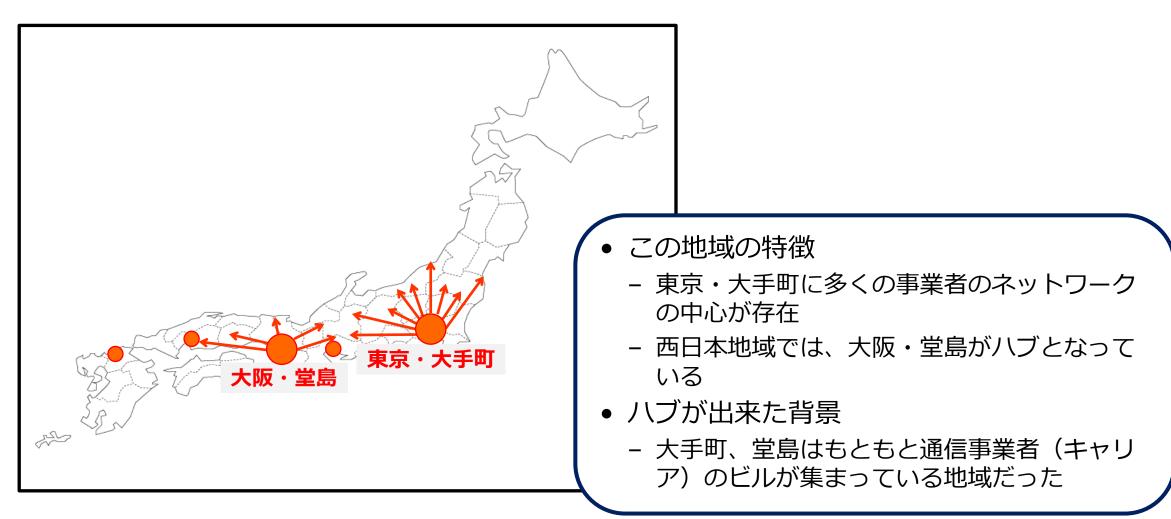
- この地域の特徴
 - 異なる国・地域の間であっても陸続きの場所が 多い
- ハブが出来た背景
 - ロンドン、フランクフルト、アムステルダムには、証券取引所があり金融都市として発展してきた
 - 北米と同様に交通機関のハブがあるところにインターネットのハブが出来ている背景もある







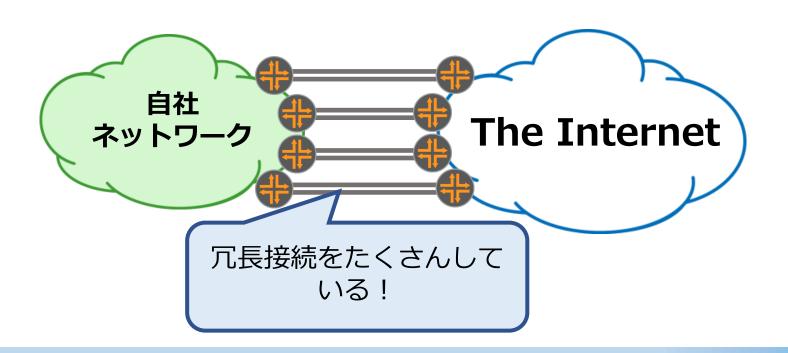
事業者の拠点が集まっている場所(日本)







「トラフィック交換場所との接続数が が多いネットワーク」 川 「耐障害性の高いネットワーク」









本時限のトピック

1.インターネットトラフィックの流れ方

2.オペレーションとそれらの役割





バックアップ箇所を多くし、 リスク発生範囲を極小化する事で、 耐障害性は上がるかもしれませんが.....





障害が発生する原因

- •機械の故障...
 - 壊れない機械は無い

- •災害...
 - やってこない災害は無い



TICLES.//WWW.ITCOCCE.COIT/ BIOG/ data- Certer - downtime.

http://www.titanpower.com/blog/considering-fire-concerns-data-center/







障害が発生する原因



どこまでの障害を想定し どこまで防げるようにしておくか の設計が重要



http://www.titanpower.com/blog/considering-fire-concerns-data-center/







どうバランスを取るか?



<u>冗長性とコストはトレードオフの関係</u>







技術者はどのようなインフラを構築し、 それをどのように運用すべきか?

インフラ構築

サービス内容に合致 し、トラブルが発生 した場合でも被害が 最小限となるような インフラの構築

インフラ運用

サービスを監視し、 仮にトラブルが 発生した場合でも 円滑な対処が可能な インフラの運用







技術者は日ごろ何をしているか?

要件(機能・性能)を 定義し、それを実現で きるモノを考える

設計

設計したモノが実際 に動くかどうかの確 認を行う

トラブル発生の際に、正常稼働 状態に戻す対処 を行う 障害対応

検証

トラブル発生を回避 できるよう、正常稼 働が継続しているか の状態確認を行う

監視

構築

検証したモノを使用 し、サービス提供で きるよう稼働させる







(1) 設計 - 技術者は日ごろ何をしているか?

• 要件定義を取りまとめ、それを元にシステムの仕様を決めていく

- なにを実現する為のシステムなのか
- 必要な性能・機能はどのような内容なのか
- サービス提供を行う為のシステムの仕様と 構築工程の両方を考える
 - 提供するサービスとインフラ・システム・ 設備の仕様が合致しているか
 - 構築・運用に必要となるリソース・コストに 問題は出てこないか



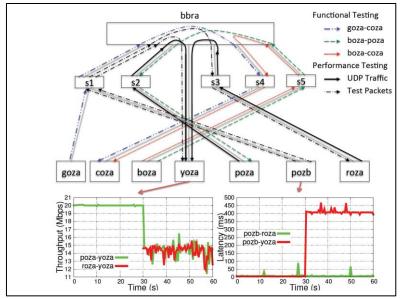






(2) 検証 - 技術者は日ごろ何をしているか?

- 設計工程で決めたシステム仕様を十分に満たしているかを確認する
 - 単体の状態で性能・機能を十分に満たしているか
 - 他のシステム(既存システムや他のシステム系)と組み合わせた場合に問題は出て こないか
- 構築工程やその後の運用段階に移った際に、 障壁となりそうなものが無いかを確認する
 - 既存の運用・監視のシステム内にスムーズな導入は 出来るか









(3) 構築 - 技術者は日ごろ何をしているか?

- 検証工程で確認した性能・機能がきちんと動作可能なようにシステム構築を行う
 - 現行で稼働しているシステムに影響を及ぼさないか
 - 検証環境で確認した動作が実環境でも問題無く動作するか
- ・運用段階でのメンテナンスや障害対応の際に、 スムーズな作業が出来るようにシステム構築 を行う
 - ・メンテナンス作業や監視作業を行う際に、対応し にくい点は生まれないか



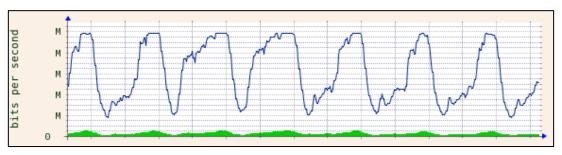






(4) 監視-技術者は日ごろ何をしているか?

- システムが正常に稼働出来ている事を見極める為の監視項目を精査した上で監視を行う
 - 監視項目とその重要度の整理が出来ているか
 - ・ハードウェアの変更・ソフトウェアの変更によって、監視項目に変化は発生していないか
- ・監視がNGになった際、その原因がどこにありそうかの整理をしておく
 - 監視結果と障害事象の関連性がイメージ出来るか
 - 過去の障害対応履歴などを鑑み、障害被疑の可能性が高い箇所はないか



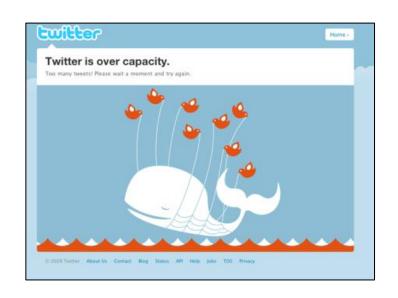






(5) 障害対応 - 技術者は日ごろ何をしているか?

- ・障害発生時に、即座に障害復旧対応が出来るような体制(人員・交換部材など)を整えておく
 - 対応人員のスキルに偏りは発生していないか
 - 障害発生時の確認手順や対応手順の共有とアップデートは出来ているか
- ・障害発生時に、顧客へのアナウンスを即座に行えるように準備しておく
 - アナウンス文面の雛型の準備やアナウンスを行う 判断・タイミングなどの整理は出来ているか









技術以外にも人がいて会社が動いています

構築	運用	営業	企画
サービス内容 に合致し、 害が発生した 場合には被害 が最小限にな るようなイン フラの構築	事前にトラブルを防ぎ、仮に障害が発生した場合も円滑な対応が可能なインフラの運用	顧客が求めている事・持っている課題とは 自社が提供と 中る価値を マッチング する営業	自社の インフラを 活用して、 自社が顧客に 提供出来る 価値を企画 開発

インフラを作る側

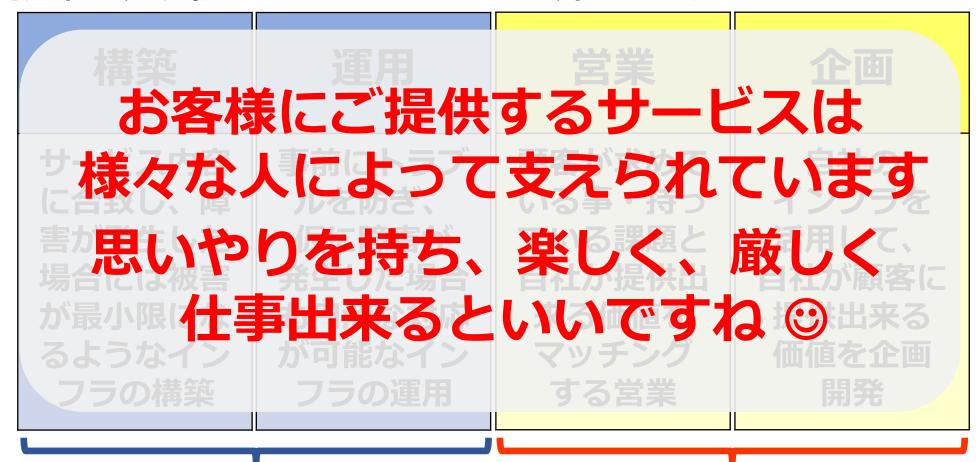
インフラを使う側







技術以外にも人がいて会社が動いています



インフラを作る側

インフラを使う側







最後に:この業界で働くあなたに

あなたが、インフラを**作る**側のヒトになるのであれば...。



時代の変化によって、インターネットの使われ方の変化をイメージ出来るヒトになってほしい







最後に:この業界で働くあなたに

あなたが、インフラを<u>使う</u>側のヒトに なるのであれば...。



時代の変化によって、インターネットの作られ方の変化をイメージ出来るヒトになってほしい







Japan Internet Exchange Co., Ltd.